12月3～9日は障害者週間

# お互いを認め合い 誰もが輝けるまち へ

毎年12月3～9日は障害者週間です。市内には障がいのある人が生き生きと学んだり、働いたりできる学校や職場があります。個性を持つ彼らは、社会にとって身近で大切な存在です。障がいのある人が明るく前向きに活躍する姿を知ることで、障がいのある人もない人もお互いを認め合い、みんなが輝ける社会を目指しましょう。

【問い合わせ】
新館障がい福祉課
（☎41-3581）

## 県立花巻清風支援学校 高等部

花巻清風支援学校高等部では、社会生活や職業生活に必要な知識・技能・態度を育成することを目的に、5班に分かれて作業学習を行っています。

そのうち「環境整備班」は、日頃の作業学習で身に付けた清掃技術を地域社会の活動に発展させるため、毎年太田地区社会体育館や太田小学校などの清掃に取り組んでいます。この活動を通して、生徒たちは誰かのために働くことの喜びを実感。社会貢献に理解を深めています。また、支援学校や生徒について地域の皆さんに知っていただく機会としています。

自分らしい生き方やあり方の実現を目指し、今もこれからも豊かに生活できるよう、生徒たちは日々活動しています。

### 環境整備班 班長 野崎 碧（あお） さん

太田地区社会体育館のステージの上や下を、端から端まで丁寧にほうきを走らせる野崎碧さん。静かに正確に行う作業から、日頃の作業学習の成果がうかがえます。

環境整備班の班長として、自分の仕事だけではなくチームで働くことを意識する野崎さんは、下級生からも先生からも、優しくて気が利くと評判です。

「作業は好きです。スピードを意識し、正確に取り組みたいです」と話す野崎さん。優しい笑顔と心配りは、周囲の人の安らぎを生み出しています。




## ルンビニー苑敷地内 花工房さ～ら

色とりどりの花でいっぱいの花工房さ～ら。さまざまな植物が、スタッフの丁寧な手入れで成長しています。

花を育てるスタッフは、光林会が運営しているグループホーム利用者と在宅利用者の皆さんです。年間100種類ほどの花やハーブを、作業内容を分担して手まきから大切に育てています。

てきぱきと作業を行うスタッフの皆さん。しかし、決して一つ一つは簡単な作業ではありません。昔は職員が行っていた作業を、スキルアップのためにスタッフにお任せしたとのこと。練習したり、教え合ったり、工夫したりして、今ではそれぞれのスタッフがベテランとして、なくてはならない存在になって働いています。

### 置き肥担当 木村 亮（まこと） さん

観賞用トウガラシを育てる木村亮さん。取材時は植物の状態を見ながら、土の表面に肥料を置く、置き肥の作業を行っていました。

「置き肥を行いながら、雑草が生えているのを見逃さないように気を付けています」と話す木村さん。置き肥の在庫管理などの役割も担っています。「立派に育ったトウガラシを見ると達成感がある。自分がやったんだな」としみじみ感じるそうです。「今後も仕事に責任を持ち取り組みたい」と目を輝かせていました。

＊花工房さ～らの花は、同工房のほか市内外のイベントなどでも販売しています

【問い合わせ】花工房さ～ら ☎29-6635



## 精神障がい者のご家族を支援しています

花巻市社会福祉協議会障害者地域活動支援センターあけぼのでは、精神障がい者に関する正しい知識や障がいへの理解について普及・啓発することを目的に、「精神障がい者家族会支援事業」を実施しています。

市や市内の家族会「ＮＰＯ法人花巻あけぼの会」と共に、家族座談会や家族同士の交流会、講師を招いた勉強会などさまざまな取り組みを行っています。

### ■市内精神障がい者家族会 ＮＰＯ法人花巻あけぼの会

［〒025-0036 中根子字古舘78 ☎22-1722（月～金曜日、午前９時～午後４時）］

＊就労継続支援Ｂ型事業所「ハッピー作業所」の運営も行っています

### ■令和５年度　家族座談会

家族座談会は、うつや統合失調など、心の病のある人のご家族が抱えるさまざまな悩みや問題について、家族同士同じ立場で悩みを分かち合い、今後について一緒に考えていくための会です。集まった皆さんでお話をします。

- 対象　市内在住で統合失調症やうつ病など、心の病のある人の家族
- 日時　令和６年２月24日（土）、午後１時30分～３時
- 会場　イーハトーブあけぼの食堂（花巻市社会福祉協議会敷地内）
- 申込期限　令和６年２月23日（金）
- 申し込み・問い合わせ
  地域活動支援センターあけぼの　担当　小原（☎21-1813）